

2019—2020年度 Vol. 01
ガバナー月信

7
月号



Rotary International District 2570
GOVERNOR's MONTHLY LETTER
Vol.1 July 2019



つなげる：未来へつなぐ

組織の未来へつなげる 組織運営を
個人の未来へつなげる 奉仕活動を

変化：変える（基本に戻る）

不合理な事・不便な事に対処すると、
結果変化しなければならなくなる。



ロータリーは 世界をつなぐ

ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強く末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行

動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

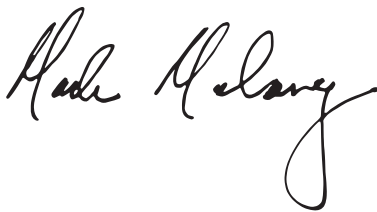
クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることがで

きます。これには例会の方法や、何をもちいて例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民とし

での参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするこゝで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。



2019-20年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーのビジョン：

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

地区テーマと 運営方針

国際ロータリー
第2570地区ガバナー 鈴木 秀憲

吹上

2019-20年度国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニー氏のテーマは「つながり」です。前頁の会長メッセージをご参照ください。

別の場面…これはガバナーエレクトセミナーである国際協議会です…ここでは、ロータリーの組織運営で大切な役員様へとして、「リーダーの仕事は『可能な限り最大限を達成する事』ではなく、『周りの人が可能な限り最大限を達成できるように、意欲を引き出す事』です。」と、言っています。そして、「次年度に会員がベストを尽くし、ベストなクラブを作れる様【つながり】に焦点を当てて頂きたい。」と、言っています。

そして、会長エレクト研修セミナー用にメッセージを送ってきましたが、ここでは、「私はいつもこう言います『ロータリーで一番大切な人はクラブ会長だ』と。次年度の基調を定め導いていくのはクラブ会長である皆さんです。

しかしリーダーとして覚えておくべきことは、皆さんの仕事は「可能な限り最大限を達成すること」ではなく、「周りの人

が可能な限り最大限を達成できるように意欲を引き出す事」です。ですから次年度に会員がベストを尽くしベストなクラブをつくれるよう「つながり」に焦点を当てていただきたいと思います。』と、言っています。

これはガバナーエレクト向けに言った言葉と同じです。つまりリーダーは、メンバーの皆様に充分活躍して頂けるよう配慮したいという事だと思えます。

そして強調事項として4項目を挙げました。

1. ロータリーを成長させる。奉仕活動やプロジェクトのインパクトを成長させる。

これについては、より組織的かつ戦略的な新しいアプローチで会員増強に取り組ましようとも言っています。つまり会員増強です。

①大切な事は、地域社会に注意深く目を向けることができ、多様な委員からなる積極的な会員増強活動を行って頂きたいという事です。

- ②クラブ強化に必要なスキル、才能、人格を備えた潜在的な方に活躍頂くためにロータリーの職業分類を活用し未充填職種を開発しようとも言っています。
- ③又、様々な例会や奉仕活動の経験ができる新しいタイプのクラブ運営をしましようとも言っています。他クラブと違う例会運営や奉仕の機会を設けて下さい。



④ロータリークラブがないところだけでなく、ロータリーが既に活発に行動している地域社会にも新しいロータリーをつくる。それによって無数の方法でロータリーを強化できる。とも言っています。

⑤そして退会される理由に「ロータリー活動への不十分な参加」、「会員の高齢化」が有りますが、これに取り組む必要が有るとも言っています。

実際、特に新しく入られた方が、奉仕活動に参加しその達成感も味合わないうちに退会される事は残念な事です。「新しい方は親睦委員会へ」等と言う事なしに、一緒に奉仕活動をお勧め頂きたいと考えます。

高齢化の問題ですが、当然のことながら、毎年1人1歳ずつ年を取ります。20名のクラブなら20歳・人 年齢は上がります。だから20名のクラブで1年経って1名だけ入れ替わりがあるとしたら20歳若い方に入会頂かなければならず、そうでなければ、自然に平均年齢は上がってしまいます。組織運営を考えたら、若返りは当然の事になります。ここまでの話なら「今度のエレクトは年寄りを大事にしない冷たい人だ」と言われますが、これは、ロータリーでなくても計算上では当たり前なのです。これは組織運営の点での話です。

一方で、もっと力を入れて言いたい事は、(これはRIもRI会長も言っていないが)クラブ例会は、高齢になった会員が楽しめる場であって欲しいとも考えます。

ある意味で高齢者も楽しめるサロンの役目をして欲しいとも考えます。高齢者が邪魔であるかのように取られる言い方は、私は厳に慎むべきであると思っています。

2.ロータリーの活動と家族との時間を競合せず補完させる文化・環境を作る。

3. 忙しいロータリアンもロータリーのリーダーになれるように

…自分たちで作った障壁を排除する。外部への壁は作らずに門戸を開きましょう。

上記1～3番は、組織内部の問題点に焦点を当てています。

4. ロータリーの活動(6つの重点項目)は、「より健康で・平和で持続可能な世界に向けた国連の継続したコミットメント(約束・責任)」を共有しています。

ロータリーのインフラ(Infrastructure: 基盤構造)は、奉仕と平和と言う精神の下に世界中の人々が繋がる事ができ、目標に向かって意義ある行動を起こす事のできるものです。

ロータリーのビジョン声明は、「私達ロータリアンは世界で・地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生む為に、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」と述べています。これはSDGsを指していると考えられます。

ロータリーを通じて私たちは繋がります。

ロータリーで私達はお互いの違い(人種や宗教・言語)を超え、深く意義ある形でつながる事ができます。ロータリーが無ければ出会う事が無かった人や支援を必要とする人々とのつながりをもたらしてくれます。私達は全員が属する世界的なコミュニティの人達とつながっているのです。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長は「ロータリーの中核にあるのがこの『つながり』であり、これが2019-20年度の私のテーマです。」と、結びました。

私は、マーク・ダニエル・マローニー RI 会長のこの講演を聞き、ロータリアンの一員である事に改めて誇りと責任を自覚し、「世界がかつて無い程分断されている今、世界をつなぐのがロータリーである。私達は人類の多様性とつながり、共通の目的を追求しながら、末永く深い絆を作り出す為に、具体的行動を起こす責任がある。」と深く心に刻みつけました。

又、国際協議会を通じて「変化、変化を受け入れる。」という言葉も、「つなぐ」と同様に、強調されました。「時代が変わっている。変わっている時代の変化への対応。そして組織運営に柔軟性を取り入れるという事。」が力説されました。

そして、この「つなぐ:つなげる」という言葉と「変わる、変える」をお借りし、2019-20年度地区テーマを「未来へつなぐ」と「変える」にしました。

地区テーマ

○つなげる:未来へつなぐ

組織の未来へつなげる 組織運営を
個人の未来へつなげる 奉仕活動を

○変化:変える(基本に戻る)

不合理な事・不便な事に対処すると、
結果変化しなければならなくなる。

地区運営で私が心掛ける事

地区組織の簡素化、基本に戻る、
説明の簡略化

クラブ会長にお願いする事

クラブ運営に柔軟性を、
意識改革

(自分で壁を作らない・

型に嵌め込まない)

上記に、ご理解・ご協力をお願い致します。



元号は平成から令和に替り、まさにロータリー活動も新しい時代に対応してゆかねばならない時でございます。そうした時に今年度鈴木ガバナーをお迎えできたことに、私達は本当に幸運であると言わねばなりません。

皆様方がご存知のように鈴木ガバナーにおかれましては、既にパストガバナーでもいらっしゃいます。これからRI日本支部の為に活躍をしようと言った矢先に再度地区のガバナー職を引き継いでいただきました事に、大きな安堵と共に地区の発展が期待できると会員皆様も期待しておられることと思います。

世界のロータリアンは122万ともいわれる中、日本ではここ20年会員の減少に歯止めがかかりません。会員が多ければいいという訳ではありませんが、良い事をしようと言う仲間が一人でも多い方が大きな力となり、少しでも早く目的が達成できると思います。そうした意味では日本は会員減が続いているとしても、世界的に見るとインドや南米等全体では増えているのが実情です。

昨年度の地区大会に於いて、台湾の3502地区と友好地区の締結をさせて頂きました。桃園の地区大会にお伺いすると、とても大きな規模でそれもロータリアン家族総出で創り上げて楽しんでいくといった事を目の当たりにいたしました。

ロータリー活動を、ロータリアンだけに留めず家族はもちろん、地域の人々をその輪に巻き込んで創ってゆく、そうした姿勢が求められているようです。

そしてそれはロータリーへの公共イメージアップにも、若者

本庄

鈴木ガバナーに 想いを託します

直前ガバナー 茂木 正

ロータリーの第一歩は研修から

研修委員会 委員長
加藤 玄静



本庄

鈴木秀憲ガバナーより研修委員長の委嘱を頂きました。本来ならば当地区の慣例は二代前のパストガバナーが担当しますが、ガバナーエレクト選考に時間が係り指名委員長の鈴木さんが最終的にお受けに成られましたので、担当諮問委員の順も変わる事になりました。

どの組織にも研修は必要であり

ます。なぜなら、その組織の目的や役割を正しく

知る必要があります、行動はその次であるからです。

ロータリーのリーダーは年度ごとに交代します。此の為、リーダーとなる会員を対象に研修する事は、ロータリーの将来にとって極めて重要であります。

国際ロータリーでは研修リーダーが国内およびアメリカでの国際協議会でガバナーエレクト

鈴木ガバナーに感謝

ガバナーエレクト 相原 茂吉



へのアピールにもつながり、強いては会員増強にも繋がってゆくのです。ともすれば昔からの仲間内で楽しければ!といった事になりがちですが、私達の目的をもう一度考えてゆこうとする時、地域を発展させる国を善くする、青少年の育成をも通じて世界平和へ貢献するといった事があるはずで、ロータリアンとして自分自身の欲するところだけで満足するわけにはまいりません。

私達に繋げられた先人の想いを、ロータリー活動を通じて実践して行こうではありませんか。時は今!この鈴木年度に他なりません。皆様方の想いを鈴木年度の活動を通して叶えて行こうではありませんか。今年度がロータリー活動の更なる発展と、会員皆様の自己研鑽の場にして頂けます事を心より祈念を申し上げてご挨拶とさせていただきます。

いよいよ7月より鈴木秀憲ガバナー年度が始まりました。ご承知の通り、当地区ではなかなかガバナーの担い手が見つからず、いったいどうなるのかと気をもんでおりましたが、鈴木パストガバナーが再度第2570地区の舵取りを引き受けて下さいました。まずはこのご決断に対し、心より敬意と感謝を申し上げます。今年度のRI会長のテーマ Rotary Connects The Worldに連携し、鈴木年度の地区テーマは二つ、すなわち「つなげる:未来へつなぐ」と「変える:基本に戻る」であります。なかなか会員増強がままならない当地区の現状を鑑み、どうすれば第2570地区が持続可能な地区として存続し、そしていかに活性化を図るかを、会員の皆さ

んに真剣に問う年度を目指していらっしゃる。その為に地区組織を大きく改革し、会員みんなで共有できるよう垣根をなくし、全ての事業は各クラブが主体となり、地

区は基本的にはお手伝いをする立場であるという「基本」を再認識するよう方向づけされました。この方針は作今の私たちの地区の長所も欠点も十分に把握されている鈴木ガバナーだからこそこの改革であると思います。そして現在RIでは何故か軽視されがちな職業奉仕委員会を組織の上部にしっかりと配置し、日本におけるロータリーの基本精神を明確に位置づけられました。鈴木ガ

バナーは第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターも務められ、ゾーン全体の啓蒙にもご尽力されております。私は本年度の鈴木ガバナーの方針をしっかり拳拳服膺し、地区全体が大きく飛躍するよう次年度に備える所存です。鈴木ガバナーには重ねて感謝申し上げますとともに、ご健康に気を付け、これからも我々ロータリアンをご指導頂きたく存じます。

の研修を行います。地区では地区研修リーダーが会長エレクトを始め地区役員に対して、又クラブ役員に対しての研修が課せられます。

同様にクラブ研修委員長は、ロータリーの最新情報を把握し、役割の遂行に必要な知識を身に付けられるように規定審議会で義務づけられています。特にクラブに於いては、「新会員」、「会員全体」、「役員」向けの研修に付

けた方が効果的かと思えます。

特に「新会員」の研修は重要であり、入会后早いうちに研修に参加要請をし、ロータリーの目的、ロータリー財団、ロータリー米山奨学会、地域から国際までの奉仕活動の必要性を教え、会員からロータリアンに育てなくては行けないでしょう。

この期間に研修を怠ると、入会后3~5年後に例会出席率が下がり、退会に結びついてしま

うからであります。高い会費?と時間を費やすロータリーで、生き甲斐を学び、奉仕活動の意義を学び、異業種の交流が無ければ入会の意味が無いかも知れませんね。

坂本元彦パストガバナーが参加されました2019年の規定審議会で、地区やクラブに関する事が改定されております。此の事項は7月より施行されますので、本年度の研修委員長の責任は

重要であります。

地区では、RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)を採用しての研修を取り入れております。高柳育行パストガバナーが日本支部の地区代表委員に就任され、地区では渡邊藤男氏がRLI担当責任者になっております。

地区研修担当責任者にはベテランの栗山昇(朝霞)氏がおりますので、遠慮なくご相談を頂ければクラブ支援を致します。

ガバナー補佐・ご挨拶

第1グループ

藤島 弘士

越生毛呂



今年度、2570地区第一グループのガバナー補佐を拝命致しました。越生毛呂ロータリークラブの藤島弘士と申します。

私は1984年に推薦を頂き、会員として早35年の年月が流れ、多くの協議会の参加を通じ、又、先輩の皆様のご指導の元、他では経験できないような奉仕活動

に出席する事で大切な事を学ばせて頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、2019～20年度RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」を基に鈴木秀憲ガバナーは、地区テーマ「つなげる：組織の未来へつなぐ」

を活動方針に掲げられました。

私は補佐としてガバナーの方針を、担当クラブ全会員に伝わる様に努めると共に、クラブからの意見をガバナーに伝え、調整する役に徹しようと考えております。

どうぞ会員皆様のご指導、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

和光

松川 厚子

第2グループ

私の祖父の富澤譲太郎が朝霞RC、父の富澤泰次が和光RCの会員でしたので、私も和光RCに入会しました。

職業は薬剤師で実家の富沢薬局を母から継ぎ経営しています。主人は内科医、弟は整形外科

医、娘2人は内科医、息子は歯科医です。ロータリー歴は短いですが、会長を2回務めさせていただきました。

鈴木年度の地区テーマ「未来につなぐ」と「変える」に従い、できるだけ尊敬する鈴木ガバナーの御

役に立ちたいと思っています。そして会員の方々が最大限を達成できるような環境作りにベストを尽くしたいとも思っていますので皆様のご指導、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



新所沢

第3グループ

徳永 眞澄

新所沢



新所沢ロータリークラブに所属して、おおよそ24年となりました。

長いだけで、私自身ロータリー知識は、自分でも呆れるほどの浅学非才な状況です。

あくまで本業が第一であり、

本業以外の各種団体での活動は、少し控え目にしてきたからです。

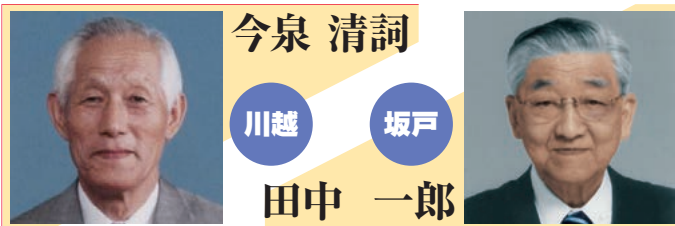
諸先輩達に、補佐の事を話せば、「大変だねえ」との言葉が定番となって返ってきます。私は「誰にでも出来るガバナー補佐」

となるよう、補佐の業務を軽減できるようにと思っております。

手抜き(?)と目に移ることもあるかも知れませんが、心を込めて奉仕させていただきます。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

諮問委員紹介



今泉 清詞

川越

坂戸

田中 一郎



野中 弘之

熊谷東

入間

石川 嘉彦



梅沢 定彦

所沢

本庄

高橋 福八



真下 和男

東松山

本庄

加藤 玄静

本庄南

この度、鈴木年度の第4グループガバナー補佐の重責を担うこととなりました本庄南ロータリークラブの村田と申します。

ロータリークラブは、素晴らしいクラブです。これもひとえに、ロータリーの名のもと、奉仕の理想に集いし、2570地区皆様の

村田 貴紀

努力の賜物であると思います。上記を常に念頭に置き、浅学非才の身ではございますが、鈴木ガバナーを補佐し、クラブと地区の懸け橋になれるよう全力で取り組んでまいりますので、なにとぞご指導、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

第4グループ

最後に、未熟者の私に自分を磨く機会を与えてくださいました、2570地区皆様、そして我が本庄南ロータリークラブ会員の皆様に心より感謝申し上げ、第4グループガバナー補佐就任のご挨拶といたします。1年間宜しくお願い致します。



国際ロータリー、マーク・ダニエル・マロニー会長の方針に沿って、我地区の鈴木秀憲ガバナーは、会員の参加を促進し、意欲を引出し、ロータリーの周知と促進を行います。その地区ガバナーを援助することによって、担当するクラブの効果的な運営をサポートすることが、ガバナー補佐の役割です。今年度、第5グループでは、我

第5グループ

クラブがガバナー補佐を選出する当番でしたが、まさか、私がある任に当たるとは、考えてもいなかったことでした。クラブ会長を受けてから10年、地区では、社会奉仕部門委員長、また細井ガバナー年度の地区幹事をさせて頂きました経験を踏まえて取り組みをさせていただきます。

新井 啓介

国際ロータリーの会員は、各クラブです。第2570地区の第5グループは、現在10クラブで、375名(1月末)の会員で組織しています。それぞれのクラブが会員同士のつながりが強固になり、退会防止・増強につながり、年次目標に沿った奉仕活動ができますよう支援協力させていただきます。こ

の一年間、クラブと地区の架け橋になるよう努力いたしますので、地区の行事や活動に対するご理解ご協力もお願い致します。また、第5グループのIM「都市連合会(Intercity Meeting)」は、行田さくらロータリークラブのホストとなりますが、皆様のご指導ご協力よろしくお願い申し上げます。



地区幹事

藤倉 武

2019-2020年度鈴木秀憲ガバナーのスマートな活動に役に立つ地区幹事でありたいと思っております。吹上RC、行田RC、行田さくらRC他の皆様のご協

力の下、お陰様で、新たに多くのロータリアンとの知己を得、又新たな経験の場を与えて頂き感謝申し上げます。この一年よろしくお願いたします。



立原 雅夫



鈴木 秀憲



高柳 育行



前嶋 修身



中井 眞一郎



坂本 元彦



細井 保雄



茂木 正

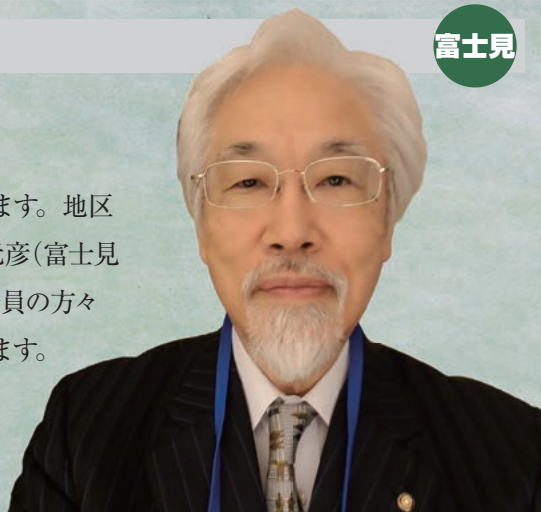


戦略計画委員会委員長

富士見

坂本 元彦

鈴木年度発足おめでとうございます。地区戦略計画委員会委員長の坂本元彦(富士見RC)です。ガバナー及び各Gの委員の方々と共に地区の為、頑張って行きます。



会員増強委員会委員長

井埜 利博

この度、鈴木秀憲ガバナーから地区会員増強委員長のご指名を頂きました熊谷RCの井埜利博です。今年度は地区委員の体制が変わりました。新たな気持ちで職責を果すつもりです。

職業奉仕委員会委員長

本庄

高柳 育行

「倫理観をもって職業を行うこと」の精神を高め、自分と自分の職業を磨くことを推奨します。

「四つのテスト」を生活のあらゆる場で活用して頂きたいと思います。



公共イメージ委員会委員長



国際大会推進委員会委員長

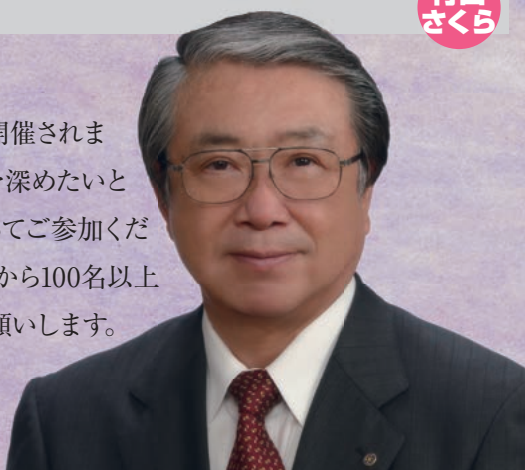
行田 さくら

細井 保雄

今年度の国際大会が後記の日程で開催されます。国際大会の地で会員同士の交流を深めたいと考えます。地区ガバナーズナイトへ奮ってご参加ください。私は、鈴木ガバナーより当地区から100名以上の参加を依頼されました。よろしくお願いします。

日程2020年6月6～10日

場所アメリカ・ハワイ州 ホノルル



社会奉仕委員会委員長

水村 雅啓

「地域とつながる」を重視し、「みんなのためになる」活動を支援します。ロータリーのイメージアップとともに地域社会との連携を深める事業展開を進めていきます。

危機管理委員会委員長

熊谷

前嶋 修身

青少年交換学生の身の安全とロータリー組織を守るために、RIは「危機管理委員会」を世界全地区において青少年交換事業継続のための必須条件として立ち上げました。





梅澤 茂

国際奉仕委員会は世界に向けて、奉仕活動を実施している委員会です。ロータリアンであるからには国際的な視野に立ち、世界に向かってよい事をしましょう。



西澤 堅

公共イメージと認知度の向上は、組織にとって最も重要な事です。ロータリーを知ってもらう事！クラブは地域に歓迎される社会奉仕を！御一緒に努力しましょう。



茂木 聡

皆様の寄付が世界でよいことを行う財団のプログラムを支えていること、ロータリー財団は私達一人一人のものであることを、実感頂けるよう努めてまいります。



島崎 義春

米山記念奨学委員会の島崎です。
委員長3年目、今年も一生懸命頑張ります。
鈴木年度の米山記念奨学生は17名です。奨学生共々一年間よろしくお願ひします。



坂口 孝

今年度より組織変更により青少年奉仕も1つの委員会として新たなスタートを切りました。少数精鋭で前年度以上の活動をしていく予定ですので、今年度も皆様のご理解とご協力をお願いします。

鈴木年度ガバナー月信発刊にあたって

ガバナー月信は地区内の会長・幹事にあてた月例の書簡で、国際ロータリーからの情報、地区内の行事、委員会活動、クラブへの連絡事項等を編集して発信するものと定められています。

鈴木年度ガバナー月信では、会長・幹事の他に地区内会員の皆様のロータリー活動のお役に立てるよう、読みやすい紙面に盛りだくさんの情報を提供して参りますので、一年間宜しくお願ひ申し上げます。

■ 会員数・出席率 ■ (2019年5月)

クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数(人)										女性会員
		当月	通算	年初(7/1)	5月末現在	5月入会数	5月退会者	本年度入会数	本年度退会者	5月度純増数	本年度純増数			
第1グループ(11RC)														
川越	4	77.06	77.08	86	94	5	0	15	7	5	8	1		
東松山	2	57.57	61.62	26	25	0	0	0	1	0	-1	1		
小川	4	78.56	78.26	8	9	0	0	1	0	0	1	2		
坂戸	4	72.41	81.48	29	31	0	0	4	2	0	2	1		
越生毛呂	4	88.40	74.00	15	18	0	0	3	0	0	3	1		
川越小江戸	4	72.44	84.35	15	15	0	0	0	0	0	0	1		
川越西	3	76.47	76.74	15	17	0	0	3	1	0	2	1		
鶴ヶ島	3	87.00	82.00	30	29	1	0	1	2	1	-1	3		
川越中央	3	74.33	76.52	28	28	0	0	1	1	0	0	0		
坂戸さつき	2	65.20	69.85	23	23	0	0	0	0	0	0	4		
東松山むさし	3	90.47	84.09	42	44	0	0	2	0	0	2	6		
小計	36	76.36	76.91	317	333	6	0	30	14	6	16	21		
第2グループ(8RC)														
朝霞	3	100.00	99.83	28	28	0	0	1	1	0	0	0		
志木	4	95.31	94.48	45	44	0	0	0	1	0	-1	0		
富士見	3	92.83	80.73	42	45	0	0	4	1	0	3	0		
新座	3	91.67	91.68	30	30	0	0	1	1	0	0	2		
和光	2	83.33	78.97	5	6	0	0	1	0	0	1	2		
朝霞キャロット	3	80.55	84.08	12	12	0	0	0	0	0	0	0		
志木柳瀬川	2	85.71	83.28	9	7	0	0	0	2	0	-2	2		
新座こぶし	3	87.50	85.42	7	8	0	0	1	0	0	1	2		
小計	23	89.61	87.31	178	180	0	0	8	6	0	2	8		
第3グループ(11RC)														
入間	4	58.80	71.71	44	45	1	0	3	2	1	1	2		
所沢	3	75.02	69.87	57	58	1	0	5	4	1	1	3		
飯能	3	92.20	90.24	58	61	0	0	5	2	0	3	0		
新所沢	3	86.49	89.76	20	21	0	0	5	4	0	1	2		
日高	4	70.83	72.54	18	21	0	0	3	0	0	3	3		
所沢西	2	81.70	84.12	29	29	0	0	1	1	0	0	3		
新狭山	3	64.58	68.39	16	17	0	0	2	1	0	1	1		
所沢東	4	86.58	91.09	43	45	0	0	3	1	0	2	1		
入間南	3	81.70	75.32	40	43	0	0	3	0	0	3	0		
所沢中央	3	86.10	91.31	23	25	0	0	2	0	0	2	2		
狭山中央	3	79.23	88.35	30	32	0	0	2	0	0	2	6		
小計	35	78.48	81.15	378	397	2	0	34	15	2	19	23		
第4グループ(11RC)														
深谷	4	64.12	66.69	56	57	0	0	1	0	0	1	11		
本庄	4	90.70	83.70	78	82	0	0	6	2	0	4	6		
秩父	4	83.00	77.96	51	50	0	0	3	4	0	-1	1		
寄居	3	86.95	86.83	24	23	0	0	1	2	0	-1	0		
児玉	1	100.00	100.00	3	3	0	0	0	0	0	0	0		
岡部	3	89.74	84.84	17	16	0	0	0	1	0	-1	1		
深谷東	4	61.50	60.99	64	68	0	0	4	0	0	4	0		
川本	4	80.00	83.18	10	10	0	0	0	0	0	0	0		
皆野・長瀨	4	86.10	79.80	12	12	0	0	0	0	0	0	0		
本庄南	3	73.33	76.92	15	15	0	0	0	0	0	0	1		
深谷ノース	3	73.53	81.93	35	34	0	0	0	1	0	-1	1		
小計	37	80.82	80.26	365	370	0	0	15	10	0	5	21		
第5グループ(10RC)														
熊谷	4	75.00	74.74	87	90	0	0	6	3	0	3	3		
行田	3	49.20	55.33	67	65	2	1	4	6	1	-2	5		
羽生	4	66.67	73.73	46	48	1	0	4	2	1	2	4		
加須	3	78.79	84.81	28	28	1	0	3	3	1	0	1		
熊谷西	3	69.00	76.73	10	11	0	0	2	1	0	1	0		
行田さくら	4	62.00	65.55	51	51	0	0	3	3	0	0	2		
熊谷東	3	64.30	61.82	28	28	0	0	0	0	0	0	2		
吹上	3	95.00	88.91	7	7	0	0	0	0	0	0	0		
熊谷籠原	3	90.48	87.09	28	28	0	0	2	2	0	0	0		
熊谷南	3	42.47	55.87	19	22	0	0	3	0	0	3	2		
小計	33	69.29	72.46	371	378	4	1	27	20	3	7	19		
51RC	男性会員数	78.47	79.31	1,522	1,566	7	0	104	60	7	44			
	女性会員数			87	92	5	1	10	5	4	5			
	合計			1,609	1,658	12	1	114	65	11	49			

■ スケジュール ■ (2019年7月・8月)

1 (月)	ガバナー会
7 (日)	米山カウンセラー会議 年度初め地区役員合同会議
14 (日)	地区会員増強セミナー
15 (月)	社会奉仕委員会セミナー
16 (火)	(公式訪問)川越
17 (水)	(公式訪問)志木
18 (木)	(公式訪問)本庄
22 (月)	(公式訪問)川越中央
23 (火)	(公式訪問)深谷・深谷東・深谷ノース・岡部合同
24 (水)	(公式訪問)川本・寄居
25 (木)	(公式訪問)行田
29 (月)	(公式訪問)新狭山
2 (金)	(公式訪問)熊谷
3 (土)	財団学友総会
7 (水)	(公式訪問)新座こぶし
8 (木)	(公式訪問)入間
11 (日)	国際奉仕セミナー
14 (水)	米山合宿
15 (木)	米山合宿
17 (土)	財団セミナー
20 (火)	(公式訪問)狭山中央
21 (水)	(公式訪問)坂戸・鶴ヶ島・坂戸さつき合同
27 (火)	(公式訪問)入間南
28 (水)	(公式訪問)飯能・日高

■ ガバナー月信編集委員会委員



委員長

五十幡 和彦

川野 健人

橋本 恭一



宮本 伸子

矢澤 大和

渡辺 昭孝



ガバナー月信 第1号 2019年7月1日発行

今月の表紙: 鈴木 秀憲ガバナーと茂木正直前ガバナー

2019-2020年度ガバナー **鈴木 秀憲**

国際ロータリー第2570地区 地区事務所
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号
ガーデンホテル紫雲閣 3階

TEL (0493) 21-2570 FAX (0493) 21-2571

E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp

Website = https://www.rid2570.gr.jp

月信原稿送信先 = info2019@rid2570.gr.jp